



自分たちの思いや考えを結実

校長 大谷 京司

雨天中止のため2日間にわたって実施した今回のプレイデイ。多くの皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。

グループ旗のデザインを決めるときから、仲間と共に創る今年度のプレイ



デイの成功を予感することができました。多くのグループメンバーがこれでいこうとほぼデザインが決まりかけた時、どうしても納得がいかない低学年児童がいました。やがて、グループのみんながその児童の周りに集まり、高学年を中心にその子の思いを引き出そうと優しく話しかけます。最終的に折り合いをつけて、色を塗る時にはその児童もとても楽しそうに自分のグループ旗に誇りをもって色を乗せているようでした。

多数決でどんどん前に進むことよりも、一人一人の思いを大事にする姿勢は、日々、自分の思いや考えで決めていくという営みを大切にしているところからきているのではないかと思います。今回のプレイデイは、まさに子どもたちの思いや考えを結実した成果そのものです。



保護者の事後アンケートからは、「自分たちでつくり上げているのだという自負が伝わってきました。」「今を楽しみ、仲間を応援し合っている姿に感動しました。」「一人ひとりが主体的に参加できている姿が印象的で、あたたかい空気感でした。」「自己記録に挑戦する姿はとても素晴らしかったです。」「みんな違う得意分野で活躍できる機会がたくさんあってすばらしかったです。」「感染症対策が出来てとても安心して観覧することができました。」「ビデオ撮影はエスポワールでも実施できたのでは。」等貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

「ザクツ」この感触はずっと体に染みつく

10月11日(月)に稲刈りを実施しました。今年は、厚木産の「はるみ」といううるち米の収穫です。台風の影響で多くの稲が倒れてしまい、斜めになった稲を刈るのはかなり苦労したようです。子どもたちが刈った稲は、エスポワールの方々に束ねいただき、竹で組んだ竿に干していきましました。28日(木)の脱穀では、昔ながらの農具、千歯こきや足踏み脱穀機、唐箕を体験し、米作りの最後を締めくくりました。

